オプトアウト用資料

ゆう在宅クリニック（本院、旭院、横浜院、瀬谷院）を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを 希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	維持透析中の非がん末期腎不全患者における透析中止後の在宅緩和ケアの実態調査
当院の研究責任者	旭院　院長　原田紳介
他の研究機関および各施設の研究責任者	本院　院長　田村陽一 横浜院　院長　三條博之 瀬谷院　院長　進藤健
本研究の目的	高齢化に伴い、血液透析または腹膜透析を行う高齢者が多くなっています。体調の悪化から透析の継続が困難となる患者さまが増えており、緩和ケアが行われることになります。そこで当院ではどれくらい透析の継続が困難になる方がいるのか、どういった症状緩和ケア治療が行われているのかを研究の目的とします
調査データ該当期間	2019 年 1 月 1 日　～　2026 年 10 月 6 日
研究の方法（使用する資料等）	・対象：当院で訪問診療中、医学的理由や本人家族の希望で透析中止となりお亡くなりになった非がん患者さま。 ・方法および利用する情報、試料：当院で得られた診療情報を他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工して調査します
試料・情報の他の医療機関への提供	資料・情報を、ゆう在宅クリニック（本院、旭院、横浜院、瀬谷院）以外の他の医療機関への提供はありません。研究結果は学会発表や論文化予定です。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除し他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は使用しません。なお、研究対象から除外を希望される方は 2027 年 12 月末までにご連絡をお願いします。ただし申し出の時点ですでに研究結果が公表されていたときなどはデータから除けない場合があることをご承知おきください。
本研究に係る資金（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反はありません。
お問合わせ先	電話：045-489-9001　（旭院　代表） 担当者：原田紳介
備考	

版数：第 1.0 版

作成年月日：2026 年 8 月 1 日